



対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」(米国)  
TOFUプログラム 標準日程案



日時		プログラム	ねらい
事前説明会 渡航1か月前を目安に実施			
1日目 (日)	午前	成田/羽田/関西/中部国際空港 集合、オリエンテーション、渡航説明・健康状態確認	事業主旨・目的等を理解し、プログラム参加者としての自覚を促し、意欲を高める。また米国での安全管理・健康管理について確認する。
	離日【成田/羽田/関西/中部国際空港発 → 米国着】		
2日目 (月)	午前	プログラムオリエンテーション 【表敬訪問】日本国大使館	・事業目的、スケジュール詳細の確認。 ・米国の政治・経済・外交・歴史・文化等を知り、米国理解の一助とする。米国における日本の位置づけや評価を把握し、「日本の強み・魅力」を発信する準備へとつなげる。
	午後	【表敬訪問】米国政府機関	
3日目 (火)	午前	【意見交換】米国政府関係者、シンクタンク関係者等	東アジアの安全保障環境、あるべき日米安全保障体制の姿、米軍と社会との関係等について意見交換を行う。
	午後	【歴史的・文化的施設訪問】	米国の代表的な歴史/文化施設訪問、あるいは日本と米国との歴史的な関係が分かる施設を訪問し、その土地と人々に対する理解を深め、今後の日本と米国との関係を考察する一助とする。
4日目 (水)	午前	【歴史的・文化的施設訪問】	米国の代表的な歴史/文化施設訪問、あるいは日本と米国との歴史的な関係が分かる施設を訪問し、その土地と人々に対する理解を深め、今後の日本と米国との関係を考察する一助とする。
	午後	【現地学生等との交流】 (空路により米国内移動)	米国の同世代の青少年に対し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策などについてプレゼンテーションを行い、米国学生が日本の良さを知り、日本に関心を持つきっかけ作りを行う。交流を通じ、日本と米国間の友情を育む。
5日目 (木)	午前	【表敬訪問】総領事館	米国または国際社会における日本の役割や評価を把握し、「日本の強み・魅力」を発信する準備へとつなげる。
		【国際機関訪問】	
	午後	【ワークショップ】	
6日目 (金)	午前	報告会準備 【報告会/昼食歓送会】	今回のプログラムから学んだことや帰国後活動案について、総領事館や米国関係者等に報告する。
	午後	【現地学生等との交流】	米国の同世代の青少年に対し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策などについてプレゼンテーションを行い、米国学生が日本の良さを知り、日本に関心を持つきっかけ作りを行う。交流を通じ、日本と米国間の友情を育む。
7日目 (土)	午前	帰国準備	
【米国発 → 成田/羽田/関西/中部国際空港着(翌日到着)】			
8日目 (日)	午後		帰国 解散